



マルチメディアテンキー(Multimedia Tenkey) 取扱説明書



Multimedia Tenkey マルチメディアテンキー

最初に ご確認ください。	セ ッ ト 内 容	マルチメディアテンキー	1台
		CD-ROM	1枚
		(ドライバ・ユーティリティソフト)	
		取扱説明書	1部

ご使用前にこのマニュアルをよくお読み下さい。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にして下さい。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。

サンワサプライ株式会社

警告

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることで受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせることでお試しください。

- テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
- テレビ/ラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
- テレビまたはラジオをとば別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
- 状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者または販売店にもご相談いただけます。

目次

2	はじめに - マルチメディアテンキーへようこそ! -
	マルチメディアテンキーの開封
3	接続とソフトウェアのインストール
5	<Multimedia Keyboard>メニューについて
6	On Screen Display(OSD)
8	マルチメディアテンキー機能
11	マルチメディアテンキー機能追加設定
13	オーディオCDプレーヤー
14	ビデオCDプレーヤー
15	保証規定・保証書

はじめに

マルチメディアテンキーをお買いあげいただき誠にありがとうございます。本製品はマルチメディアアプリケーションまたはインターネットで使用できるようデザインされています。本製品により、CDビデオまたはスクロールのキーボード操作がとても簡単になります。ボタンを押すだけで、ムービーを見ることができ、WWWにも簡単に接続できます。ショートカットキーを設定すると、必要なソフトをすぐに立ち上げることができます。オンラインヘルプへの接続も簡単にできます。

ビデオコントロールセンターのHide/Showのグラフィックユーザーインターフェースで、オーディオCDプレーヤーまたはビデオCDプレーヤーを操作できます。

マルチメディアテンキーの接続は本書で簡単に行えます。本書は、マルチメディアテンキーの機能またはホットキーまたはプログラムの特長の簡単な説明いたします。

マルチメディアテンキーの開封

マルチメディアテンキーの開封は慎重に行ってください。万が一破損などを発見した場合は、お買いあげの販売店にご連絡ください。

- マルチメディアテンキー
- CD-ROM (ドライバ・ユーティリティソフト)
- 取扱説明書

マルチメディアテンキーの修理時のために、パッケージはお捨てにならないでください。

接続とソフトウェアのインストール

<対応機種>
 本製品には、下記のハードウェア、ソフトウェア以上のものをご使用ください。
 各社DOS/Vノートパソコン(IBM Think Pad等を除く)
 但しPS/2テンキーポート(ミニDIN6pin)を持つ機種
 OSはWindows98、Windows95に対応

マルチメディアテンキーの接続

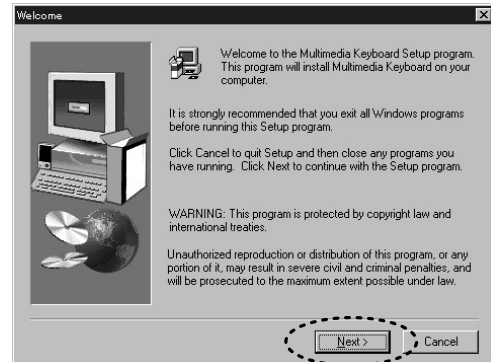
マルチメディアテンキーのコネクタをノートパソコンのPS/2テンキーポート(ミニDIN6pin)に差し込んでください。コネクタの上下を間違えて無理矢理差し込むと故障の原因になりますので注意してください。

ソフトウェアのインストール

- 下記の内容に従ってください。
- 1.インストール用CDをCD-ROMドライブに入れてください。
 - 2.Multimedia Keyboard/Keypad Install programが自動的に立ち上がった場合は Install Keypad Driverを選択してください。
 (この時点でインストール作業を中止する場合はEXITを選択してください。)



2-1.Welcome画面でNext>を選択してください。



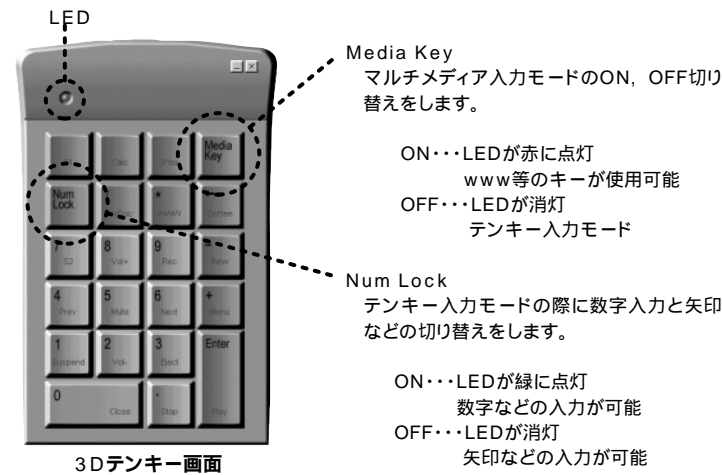
3

- 2-2.Multimedia Keyboard Setup画面で
 Yes, I want to restart my computer now.を選択し、OKをクリックしてください。



- 3.Multimedia Keyboard/Keypad Install programが自動的に立ち上がらなかった場合は、マイコンピュータの中からCD-ROMドライブを読み込んでください。もしくは「スタート」「ファイル名を指定して実行(R)」 「0:¥Keypad¥Setup.exe」(0がCD-ROMドライブの場合)でインストール作業が開始されます。

Windowsを再起動すると、マルチメディアテンキーのアイコンがWindows98/95のツールバーに現れます。アイコンを右クリックするとメニューが現れます。

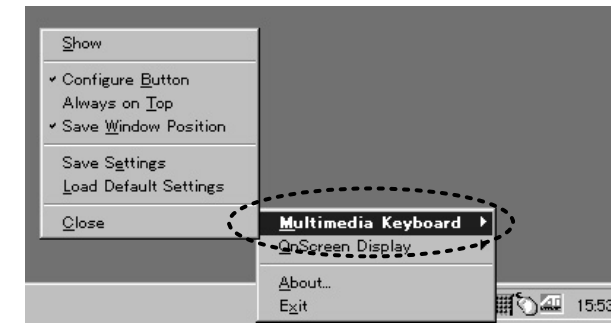


このメニューでマルチメディアテンキーの機能を設定することができます。
 (マルチメディアテンキー機能追加設定...P.11~12 参照)

4

<Multimedia Keyboard>メニューについて

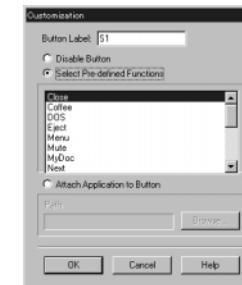
Multimedia Keyboardを右クリックするとメニューが現れます。



メニューの説明は下記の通りです。

Show(ショー)..... 画面の上にマルチメディアテンキーのメニュー画面が表示されます。

Configure Button..... Configure Button(コンフィギュア ボタン)にチェックを入れると、マルチメディアテンキーのボタン設定ができます。
 この機能を選択し、マルチメディアテンキーのS1、S2等の3Dテンキー画面上のキーをマウス等でクリックすると、下図のダイアログボックスが表示されます。



Configure Button(コンフィギュア ボタン)をチェックしなければ、3Dテンキー画面上のキーの機能は有効になりません。マルチメディアテンキーの機能設定についての詳しい内容は、「マルチメディアテンキー機能追加設定...P.11~12」をご覧ください。

Always on Top..... 3Dテンキー画面が常に手前に表示されます。
 (オールウェイズ オン トップ)

Save Window Position..... 3Dテンキー画面の位置を記憶します。
 (セーブ ウィンドウ ポジション)

5

Save Settings マルチメディアテンキーの設定を変更したとき、これを(セーブ セッティング)

Load Default Settings 初期設定になります。(ロード デフォルト セッティング)

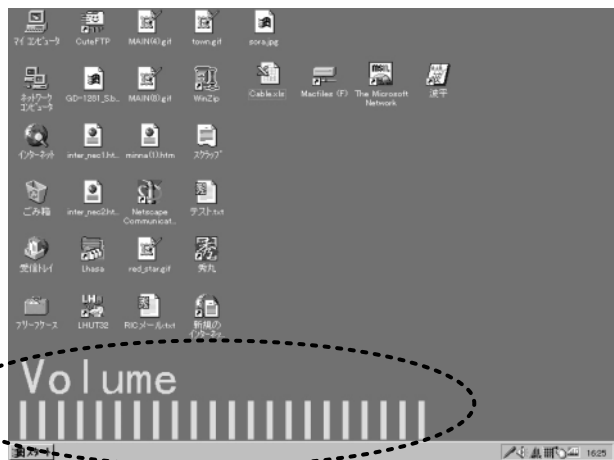
Close (クローズ)..... マルチメディアテンキーが終了します。ツールバーのマルチメディアテンキーアイコンが の表示になります。アイコン上で右クリックし、Launch(ランチ)を選択するとマルチメディアテンキーが立ち上がります。



On Screen Display(OSD)

On Screen Display(OSD)モード-画面上での変更確認

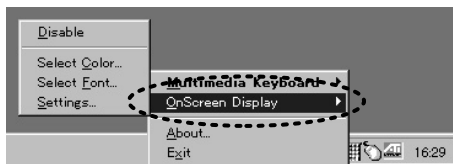
マルチメディアテンキーを使用するとき、OSDモードで使用状況が確認できます。例えば、音量を小さくする、または大きくするとその状況が下図のように画面上に表示されます。



緑色のバーで音量の大小を表示しています。

On Screen Display(OSD)モードの設定

OSDモードの設定ができます。Windowsツールバーにあるマルチメディアテンキーのアイコンを右クリックし、On Screen Display(OSD)を選択すると、サブメニューが現れます。

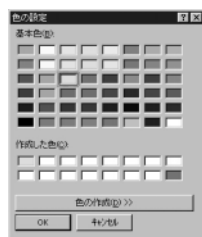


サブメニューの説明は下記の通りです。

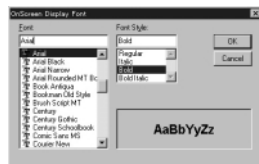
Disable (ディセイブル)..... 画面上での使用状況が確認できないモードになります。(OSDモードOFF)

Enable(イネイブル)..... 再度、画面上での使用状況が確認できるモードになります。(OSDモードON)

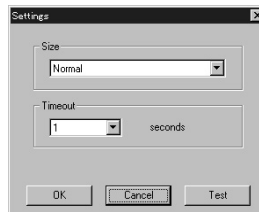
Select Color(セレクトカラー)..... OSDモードの色の変更ができます。



Select Font(セレクトフォント)..... OSDモードのフォントの選択ができます。



Settings(セッティング)..... 設定ボックスが表示されます。



OSDモードのサイズまたはOSDの連続表示時間の変更ができます。

マルチメディアテンキー機能

マルチメディア入力モードON(LEDが赤)の状態、下記のマルチメディアテンキーの機能が使用できます。

Media Key マルチメディア入力モードのON/OFFの切り替えができます。(メディア キー) (ON/OFFの切り替えについては本書 P.4をご覧ください。)



Menu(メニュー)..... 3Dテンキー画面の表示、非表示を切り替えます。



3Dテンキー画面

WWW 標準で使用するブラウザが立ち上がります。



Short Cut, S1/S2..... ショートカットの設定ができます。この機能は、ボタンごとに各アプリケーションを立ち上げることができます。詳しくは「マルチメディアテンキー機能追加設定...P11~12」をご覧ください。



Sleep(スリープ)..... パワーセーブモードに入ります。このパワーセーブ機能は、コンピュータのBIOSで設定できます。お持ちのコンピュータのマニュアルをご覧ください。



Coffee Break スクリーンセーバーが現れます。(コーヒー ブレイク) (パソコン本体側のスクリーンセーバーの設定が必要です。)



Calc(カルク)..... Windowsの電卓が現れます。その際マルチメディア入力モードはOFFになりますのでNumLockをONにして数字入力などを行ってください



X'fer(エックス ファー)..... 計算結果をWindowsのアプリケーション上に移行することができます。



My Doc(マイ ドキュメント)..... My Documents(マイ ドキュメント)フォルダが開きます。



Prev(プレvias)..... オーディオCDまたはビデオCDモードのとき、一つ前のトラックに戻ります。



Stop(ストップ)..... オーディオCDまたはビデオCDモードのとき、停止します。



Play/Pause(プレイ/ポーズ)..... オーディオCDまたはビデオCDモードのとき、再生します。また、オーディオCDまたはビデオCDが入っていることを自動的に確認し、適切なアプリケーションを立ち上げます。もう一度このキーを押すと、オーディオCDまたはビデオCDが停止します。



Next(ネクスト)..... オーディオCDまたはビデオCDモードのとき、次のトラックに飛びます。



Mute(ミュート)..... オーディオCDまたはビデオCDモードのとき、音を消します。



Volume Up(ボリューム アップ)..... 音量が上がります。



Volume Down..... 音量が下がります。(ボリューム ダウン)



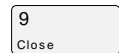
Record(レコード)..... WindowsのSound Recorder(サウンド レコーダー)が立ち上がります。



Scroll Up/Scroll Dn..... ドキュメントまたはインターネットページを画面スクロールできます。この機能はネットスケープ、インターネットエクスプローラー4.0、Office 97で使用できます。

設定をしないと、このキーはありません。次ページのマルチメディアテンキー機能追加設定をご覧ください。

Close(クローズ)..... アクティブアプリケーションを終了させます。(MS-DOSプロンプトを除く)




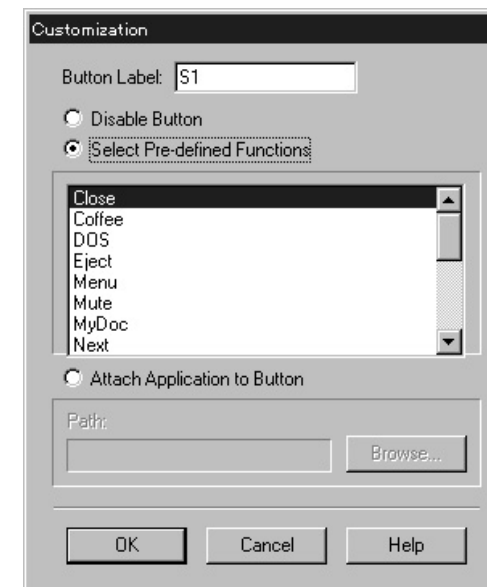
Rewind(リワインド)..... Windows Recorder(ウインドウズ レコーダー)で録音した音声ファイルを再生します。



マルチメディアテンキー機能追加設定

マルチメディアテンキーの追加設定により、登録したアプリケーションをワンタッチで起動させたりすることができます。

Windowsツールバーのマルチメディアテンキーアイコン  を右クリックしてください。メニューからMultimedia Keyboardを選択します。このとき、サブメニューでConfigure Buttonにチェックが入っていることを確認しておいてください。Showを選択すると、3Dテンキー画面が表示されます。3Dテンキー画面上のキーをマウス等でクリックすると、それぞれに任意の機能を割り付けるためのダイアログボックスが表示されます。



ダイアログボックスの内容を説明いたします。

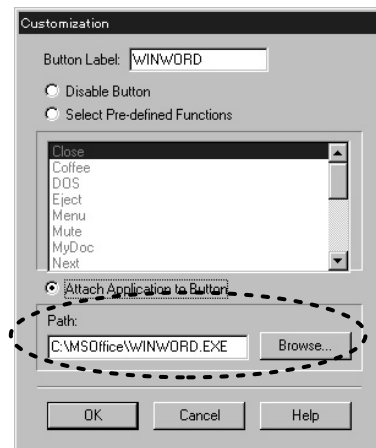
Button Label(ボタンラベル)..... キー割り付けした際、その内容がキートップに表示されます。

Disable Button..... マルチメディアテンキーのマルチメディア機能を使用しない場合、このボタンをクリックしてください。マルチメディアテンキー使用時でも不使用時でも、一般的なコンピュータ作業に戻ることができます。

Select Pre-defined Functions...スクロールウィンドウに表示されている機能を選択し、(セレクト プリデファインド ファンクション) キー割り付けができます。これ以外の機能は下記で説明いたします。

- 例)Close(クローズ)
今開いているアプリケーションを終了します。
- 例)Coffee(コーヒー)
スクリーンセーバーが立ち上がります。
- 例)Scroll Up/Scroll Dn
(スクロール アップ/スクロール ダウン)
ドキュメントまたはインターネットページを画面スクロールできます。この機能はネットスケープ、インターネットエクスプローラー 4.0、Office 97で使用できます。

Attach Applications to Button...このボタンをクリックすると、割り付けたいアプリケーションソフトを任意のキーに設定することができます。このボタンをクリックし、Browseボタンで割り付けたいアプリケーションを探します。これにより、アプリケーションソフトのパスとロケーションの指定ができます。使用頻度の多い表計算やワープロなどのアプリケーションソフトを割り付けておくと割り付けておくと大変便利です。

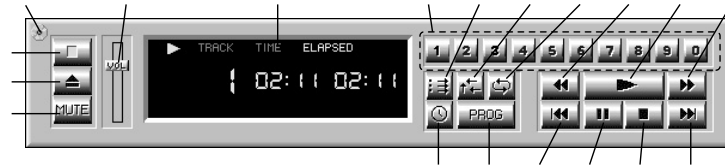


設定を終えたら、OKをクリックしてセーブ、またはCancel(キャンセル)で取り消しをしてください。

オーディオCDプレーヤー

マルチメディアホットキーで、「オーディオCDプレーヤー」をいつでも使用できます。

マルチメディア入力モードで キーを入力すると「オーディオCDプレーヤー」のプログラムが実行されます。(オーディオ用CDがドライブに挿入されている場合)

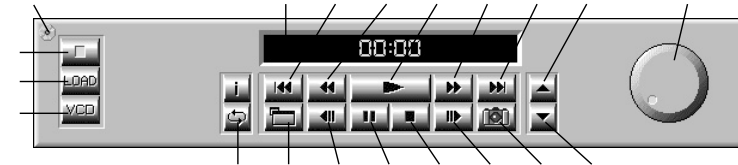


- Mute CDの再生音が消えます。
- Eject CD-ROMドライブに入っているCDが取り出せます。
- Power 「オーディオCDプレーヤー」が終了します。
- About CDプレーヤーのメーカーまたは商標登録情報についてのウィンドウが現れます。この機能で「オーディオCDプレーヤー」のウィンドウの調節ができます。
- Volume 音量スライダを左右に移動すると、音量の調節ができます。
- LED Display 演奏中のトラックの時間・長さを表示します。
- Track Numbers トラック盤キーで、すぐ聞きたいトラックが選択できます。
- Intro Search 全てのトラックの最初の10秒を演奏します。
- Shuffle トラックをランダムに再生します。
- Repeat 1回押すと、トラックを繰り返し再生します。2回押すと、CD全体を繰り返し再生します。CD全体の繰り返しを実行すると、トラックのみの繰り返しは解除されます。3回押すとリピートモードが解除されます。モードの確認はLEDパネルの右下に表示されます。
- Skip Backward トラックを5秒巻き戻します。
- Play 演奏を再生します。
- Skip Forward トラックを5秒早送りします。
- Next Track 次のトラックに飛びます。
- Stop 演奏を停止します。
- Pause 演奏を一時停止します。もう一回押すと、再生します。
- Previous Track 前のトラックに戻ります。
- Program ダイアログボックスにトラックのリストアップの表示が現れます。ここで、好きな順番でトラックを選択することができます。
- Time Format 曲の現在の時間と残りの時間が表示されます。現在の時間はLEDパネルの右上に表示されます。

ビデオCDプレーヤー

マルチメディアホットキーで、「ビデオCDプレーヤー」をいつでも使用できます。

マルチメディア入力モードで キーを入力すると「ビデオCDプレーヤー」のプログラムが実行されます。



- VCD ビデオCDをロードします。
- Load MPEG、AVI、または、MOVファイルをロードします。
- Power 「ビデオCDプレーヤー」が終了します。
- About ビデオプレーヤーのメーカーについてのウィンドウが現れます。この機能で「ビデオプレーヤー」のウィンドウの調節ができます。
- LED Display ビデオの時間・長さを表示します。
- Cue Beginning ビデオCDの最初まで飛びます。
- Rewind 5秒巻き戻します。
- Play 再生します。
- Fast Forward 5秒早送りします。
- Cue End ビデオCDの最後まで飛びます。
- Frame Rate Up ビデオCDのスローモーションのフレームレートを上げることができます。フレームレートの調節は1から9までです。
- Fast Forward/Rewind Dial ダイアルを時計回りに回すと、ビデオは早送りされます。反時計回りに回すと巻き戻しされます。
- Frame Rate Down ビデオCDのスローモーションのフレームレートを下げることができます。フレームレートの調節は1から9までです。
- Capture 選択したフレームをキャプチャーすることができます。イメージはビットマップで保存されます。
- Slow Forward ビデオの再生スピードを遅くすることができます。
- Stop ビデオを停止します。
- Pause ビデオを一時停止します。もう一回押すと、再生します。
- Slow Reverse 再生巻き戻しのスピードを遅くすることができます。
- Screen Size 画面のサイズを調節できます。この機能でビデオをフル画面またはウィンドウモードで見ることができます。
- Repeat ビデオが終了するとまた初めから再生します。

サンワサプライ株式会社

1999.5現在

岡山サプライセンター/〒700-0825 岡山市田町1-10-1 ☎086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライセンター/〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 ☎03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所/〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 ☎011-811-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所/〒983-0851 仙台市青葉区権町1-6-3 7 宝栄仙台ビル ☎022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所/〒453-0015 名古屋市千代田区権町1-6-7 カジヤマビル1F ☎052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所/〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-4 5 新大阪八千代ビル ☎06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所/〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20 第2博多相互ビル ☎092-471-6721 FAX.092-471-8078
金沢/☎076-222-8384

最新情報はインターネットで! <http://www.sanwa.co.jp>